



# 国鉄新潟

NO. 685  
発行  
10・3月25日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部

## すべての取り組みに 全力で取り組もう

### みんなの 意見



委員からの発言は、春闘・職場の問題、冬季の除雪について、ダイ改に伴う合理化・JR不採用問題など、出されました。拡大委員会は、限られた時間での討論でしたが、全体の意思統一が図られました。書記長集約・団結頑張ろうつまで、十六時ごろ終了しました。

第百十六回拡大地方委員会が三月六日、十三時から下越事務所で開催され当面する運動方針について決定されました。議長に旧中越支部・近藤委員が選出され、関川委員長のおいさつ・来賓あいさつでは、交通共済の高橋所長・エリア本部からは矢部執行委員がそれぞれあいさつしました。



一月三〇日に新潟県支部の大会を開催し発足したが広域なので会議などなかなか開けない支部から各分会への運動の提起について、直江津な

## 関川委員長 あいさつ

2月10日、本部はJR各社に対し、いっせいに5000円の賃上げ要求を提出した。ベアゼロ・定昇凍結、など会社側の姿勢に抗議した。JR東における運転・検修職場外注化施策、貨物における「聖域なき経費削減」検修合理化など、われわれの生活と働く場所の確保が脅かされている。



JR不採用事件の政治的解決に向けて大きく動き出した。昨年末の12月25日、与党三党担当者が鉄道・運輸機構に対し「当事者間で和解に向けた話し合いをするよう」要請し、本年1月13日には、1047名問題の解決に向けて与党政務三役と国交省担当者との間で協議を行い、政府・与党として解決に向かう考え方が示された。中身は三点～ 1047名を政治的に解決する。解決案は与党三党が作成する。解決は年度末に向けて努力する～これを受けて、1月25日に改めて政府・与党三党に「当事者が路頭に迷わない解決」要求の提出と説明を行った。

今年は、「国鉄の分割民営化」によって不当な差別を受け、JRに採用されず、国鉄清算事業団から解雇された1047名のJR不採用問題が生じてから20年の節目の年。当事者働き盛りであった被解雇者の平均年齢も56歳となり、解決を見ることなく亡くなられた方は59名に上り、病床に伏せられているものも数多くいる。当事者と家族の精神的、肉体的、経済的苦痛は筆舌に尽くしがたい。

一刻も早い解決が必要なのは言うまでもない。解決を望まない妨害勢力がさまざまな横槍を入れてくるのが予想される。これらの妄動を許さず、最後の最後まで団結を固くし、必ずこのことを成し遂げる決意をこの場で確認したい。

本委員会の構成員の皆さんによる活発な討論を期待し、地方本部を代表しての挨拶とする。



ど地域的に難しい。JR不採用問題・春闘について議論していく。貨物のハガキやFA行動を取り組んでいく。組織拡大行動、四月から積極的に取り組んでいく。国労も昼食会の計画について分会でも意思統一し、進めていく。

今年の大雪について、会社は対策費を削減している。新潟はポイントについて、ヒーターだけの融雪しかしていない。石山駅はポイントが埋まる。貨物と競合するところなので温水設備が必要だ。降雪時、排雪列車の配置変更を要求しているが会社は改善しない。来年について改善してほしい。支部統合により、支部から地域分会となった。今まで支部で取り組んでいる、並行在来線の取り組みは地域でも感心がある。引き続き運動を進めていくが、財政的支援をお願いしたい。組合員は手弁当で参加をしている。もう限界だ、地本への支援、分担金として要請。

冬季十一月から二月は大雪で列車が乱れ、始発が運行できない状況が発生した。排雪列車の導入など新しく見直していく必要がある。  
北越急行へも、労働条件などについて申し入れができないか。要求は受け付けないと思うが、国労として要求についてJRは、北越急行側へ伝えると言っているが、そうなのだろうか？国労から北越急行側へのルートをつけないか。



貨物の春闘の取り組みについて、各機関からの強力を要請している。ガキ・FAX行動に御礼を。ダイ改提案で大幅な委員の削減が提案された。客・貨一体の取り組みをお願いしたい。  
信越出線、大雪といわれているが、妙高では例年どりの降雪だった。今年も大雪だったことが大きな影響だった。MRが雪で埋まってしまい除雪が困難になった。  
CTC指令の要員について、打ち合わせ時、指令員がそのたびに変わる。ポイントの確保を要求したが誤操作。ひとりの指令員には、通じているが全体に伝わっていない。その都度、指令内容が変わる。CTCの対応はダメだ、指令全体が情報の共有をして欲しい。  
JR不採用問題について、委員長

のあいさつマスコミ報道内容を言うのはいかなものか。機関には具体的内容がいつさいて下りていない。今のマスコミ報道は、国労の要求が通りそうな内容になっている。与党三党の申し入れは、法的責任が無いことから出発している。法的責任無しといふのか？今後、国労が解雇撤回を言えなくなる。政治解決は一発回答になる。  
JRで旧系列は委託会社になつていく。その後、新系列になつていく。その後の、新系列になつていくのか。駅派出について新人が配属になつた場合、対応できるか？全体が職場から要求を出して反対していく取り組みを進めよう。



# 国労東日本本部 矢部執行委員 あいさつ



## 解決するという決意と団結を固める

国民本位の政治を実現するため取り組んでいく。そのために私達は、どういう立場で運動を進めていくのか。

JR貨物～経営状況は赤字で厳しい。社長の姿勢は、3年連続の赤字を出させないため定昇を無くし、手当を年間3ヶ月と言っている。本部・貨物協は引き続き追及していく。

JR東日本～社長は収益を増やすため、筋肉質で俊敏な経営にしている。全面外注化を進めコスト削減をいいていく考え。丸ごと外注化を受け入れない闘いを強めていく。輸送障害が多発している。人材の育成・委託拡大の一部見直しなど交渉を進めていく。

賃上げ～内部留保があるから、要求額・内容について追及していく。組織拡大は大会以降10名が国労加入している。19ヶ月連続、達成している。

JR不採用問題～解決案について報道しているが、解決案が正確でない。だが、マスコミ報道内容の水準になる。これから国交省への申し入れになる。雇用については、JR東日本は、JRに責任が無いとしているので雇用確保は難しいとしている。何としても解決するという決意と団結を固める。全代後、地方での機関会議で意思統一をしていくこと。エリア本部も奮闘していく決意だ。

回を言えなくなる。政治解決は一発回答になる。  
JRで旧系列は委託会社になつていく。その後、新系列になつていく。その後の、新系列になつていくのか。駅派出について新人が配属になつた場合、対応できるか？全体が職場から要求を出して反対していく取り組みを進めよう。



JR不採用問題と与党三党の素案について、全国代表者会議を受けて機関会議を開催し意思統一を図る総力を挙げて取り組んでいく。  
労働条件改善の闘い、検修外注化設備メンテの提案に反対していく。貨物の効率化について、労働条件の



# 書記長集約

改善・仕事懸点検の実施、取り組みをしていく。  
組織拡大、地本の組織現状から緊急課題だ。ひとりひとりが拡大について、自ら工夫し何が必要か取り組んでいくこと。2010春闘・JR不採用問題・安全問題などの闘いを集中して闘っていく。



# 編集後記

長い冬が終わり、季節は春になるうとしていきます。もう西日本では桜が開花していますね。新潟も来月上旬に桜が開花します。  
多くの課題が、あります。厳しい闘いになります。ひとり一人が団結して運動を進めていきましょう。これから暖かくなります。いろいろ活動が活発になりますね。

